

## 部門別目標値

区分	大綱の目標	計画案の目標	
	1990年度比 (基準年総 排出量比)	2010年度排出 量(百万t- CO <sub>2</sub> )	1990年度比 (基準年総排出量比)
温室効果ガス	▲0.5%	1,231	▲0.5%
①エネルギー起源CO <sub>2</sub>	±0.0%	1,056	+0.6%
革新的技術、国民努力	▲2.0%	—	—
②非エネルギー起源CO <sub>2</sub>		70	▲0.3%
③メタン	▲0.5%	20	▲1.2%
④一酸化二窒素		34	▲0.5%
⑤代替フロン等3ガス	+2.0%	51	+0.1%
森林吸収源	▲3.9%	▲48	▲3.9%
京都メカニズム	差分(▲1.6%)	▲20	▲1.6%
削減目標(合計)	▲6.0%	1,163	▲6.0%

注. 計画案では「革新的技術、国民努力」はエネルギー起源CO<sub>2</sub>の内数としてカウント。

エネルギー起源CO<sub>2</sub>の各部門の目安としての目標

	地球温暖化対策推進大綱			京都議定書目標達成計画案		
	1990年度	2010年度(各部門の目安としての目標)		1990年度	2010年度(各部門の目安としての目標)	
	百万t- CO <sub>2</sub> A	百万t- CO <sub>2</sub> B	(部門毎の 基準年比増 減率) (B-A)/A	百万t- CO <sub>2</sub> C	百万t- CO <sub>2</sub> D	(部門毎の基 準年比増減 率) (D-C)/C
エネルギー起源CO <sub>2</sub> [外数:技術革新・国民努力]	1,053	1,052	±0.0% [▲2.0%]	1,048	1,056	+0.8%
産業部門	497	462	▲7.0%	476	435	▲8.6%
民生部門(注1)	265	260	▲2.0%	273	302	+10.7%
(業務その他部門)	—	—	—	(144)	(165)	(+15.0%)
(家庭部門)	—	—	—	(129)	(137)	(+6.0%)
運輸部門	214	250	+17.0%	217	250	+15.1%
エネルギー転換部門(注2)	77	80	+3.6%	82	69	▲16.1%

(注1) 地球温暖化対策推進大綱策定時においては、民生部門に含まれるべき革新技術・国民努力の数値がエネルギー起源CO<sub>2</sub>の外数扱いとなっている点に留意。

(注2) エネルギー転換部門の数値は大綱には明記無し(残差を計算)。